表佐まち協だより
ゆちさと
2026年10月1日
表佐まちづくり協議会
垂井町表佐1723-1
Tel・Fax22-1011
Mail:osakou@town.tarui.lg.jp
広報部会

表佐祭り祭典行事のご案内

表佐地区最大の行事　表佐祭りが10月4日(日)に行われます。
各催事の日程は、次のとおりです。



神事例祭

午前8時から各神社

常夜燈　午前8時00分から
勝神社　〃　8時40分から
六社神社　〃　9時15分から
比女神社　〃　9時50分から
坏の宮神明神社　〃　10時25分から
若宮八幡神社　〃　11時00分から
朝日神明神社　〃　11時35分から

子供みこし

子ども会の皆さんが地域の人と一緒に地区内を練り歩きます。声援をお願いします。

午前10時から午後1時まで（雨天中止）

担当地区
Aブロック（坏の宮→習北→習中→三共）
Cブロック（新町→親和・在原→勝一色→大門）



表佐太鼓踊り

岐阜県重要民俗無形文化財

勇壮な太鼓踊りをご覧ください
未来を担う小・中学生も出演します。

午後3時から午後4時30分まで
表佐こども園　園庭にて
（雨天・表佐小学校　体育館）





表佐踊り、囃子、仁輪加

老いも若きも、輪になって伝統の表佐踊りを踊りましょう

午後7時から午後8時30分まで
表佐こども園　園庭にて
（雨天中止）





写真は、いずれも6年度

まち協ホームページ
ＱＲコード

ハリヨ便り

本欄の7月号にスマート農業について記述した。その続編で現代の日本農業について考えてみた

▼農家が大部分を占める村落を農村というが、昔ならともかく今の表佐は農村には当たらない。事実、認定農業者を主とした水稲耕作者は40人に満たない▼農業従事者激減の背景は、高齢化→引退→後継者不足→農地減少・耕作放棄地拡大→さらなる人手不足という悪循環が進行しているという。収益構造の課題や労働負担の増大も大きな要因である。農林水産省によると日本の農業従事者数は、1985年の346万人から、2025年には102万人へと70％減少、65歳以上が約70％を占める状況である▼表佐に戻ろう。表佐の農地は約170ヘクタールで、その内表佐アグリが約100ヘクタールを耕作し、その他は認定農業者や一般耕作者となる。日本で問題になっている耕作放棄地が、表佐では極めて微小であることは、40人に満たない耕作者の賜物であろう▼黄金色に輝く農地が次々に収穫され、私たちの食糧となる。感謝したい。



１０・１１月の行事・講座



行事・講座・教室名	実　施　日	時　間	場　所
表佐地区祭典　表佐地区最大の行事			
１０月４日(日)　各催事の詳細は、表面に記載			
園芸教室３　失敗しない秋冬野菜の管理を学びます（募集中）			
	１０月１１日(日)	13:30～15:30	表佐まちセン
合同体育祭(地区民の部)　詳細は全戸配布のプログラムで			
	１０月１７日(土)	12:30～14:40	表佐小グラウンド
いきいきふれあいサロン　笑う門には福来たる。落語で大笑い			
	１０月２２日(木)	9:30～11:30	表佐まちセン
ちさと子ども教室　お菓子作りに挑戦します			
	１０月２４日(土) ３１日（土）	（低学年） 9:30～11:30 （高学年）	表佐まちセン
手芸教室　来年の干支（未）などを作ります（募集中）			
	１０月２４日(土) ３１日(土)	13:30～16:00	表佐まちセン
皆さんの参加をお待ちしています。詳しくは回覧・全戸配布チラシで。感染症の流行、その他状況によって、延期・縮小・中止・開催方法変更の場合があります。その場合には、回覧やホームページ等でお知らせします。			
三世代親子なかよし祭り　小学生と地域の皆さんとの交流			
	１１月７日(土)	8:30～11:35	表佐小
表佐地区スポレク大会　モルックとラダーゲッターを楽しみます			
	１１月8日（日）	9:00～11:30	表佐小体育館
ちさと子ども教室　グラウンドゴルフを楽しもう			
	１１月１４日(土)	9:30～11:30	相川河川敷
いきいきふれあいサロン　昔ばなしと脳トレで楽しいひとときを			
	１１月１９日(木)	10:00～11:30	表佐まちセン
寄せ植え教室　年末年始を彩る一鉢を(後日募集)			
	１１月２０日(金)	14:00～15:00	表佐まちセン
表佐地区文化祭　今年も、まちセン全館を使って実施します。			
	１１月２２日(日)	9:30～16:00	表佐まちセン
表佐地区防災訓練　避難所の開設・運営の手順などを学びます			
	１１月２９日(日)	9:00～12:00	表佐小体育館ほか

表佐地区まちづくりセンター　１０・１１月の休館日

１０月　６日(火)	１１月　３日(火)
９日(金)	**４日(水)**
１３日(火)	１０日(火)
２０日(火)	１７日(火)
２７日(火)	２４日(火)
	２５日(水)

防災コーナー

内水氾濫と車の水没

先月は、天候不順の日が多く秋の長雨が続きました。８月の千葉県での豪雨に始まり、９月に入ってからも、北陸３県をはじめ名古屋市や東濃地方と、各地で大雨による洪水被害が発生しています。とりわけ、短時間に大量に降った雨で排水が追い付かず、内水氾濫が起きて市街地に水があふれ、道路が川のように流れて、車が流されるなどの被害が多発しました。

テレビのニュースなどでは、冠水した道路を車が水しぶきを上げて走っている映像が流れており、これくらいなら車で走れると思われてしまっている人も多いと思います。車は思っている以上に水に弱く、水深30 cmほどでエンジンが止まります。床下の配線が冠水でショートすれば、窓が開かなくなることも。水圧でドアも開かず、閉じ込められたまま浮いた車ごと流されてしまう可能性もあり、非常に危険です。

浸水した道路以上に、さらに注意が必要なのが、道路のアンダーパスです。

ＪＲ垂井駅の東、垂井ピアセンターの東、昼飯のＪＲ下り線など、私たちが普段走っている道路にも多くのアンダーパスがあります。

冠水したアンダーパスや道路では、雨水の深さが分からず進入して水没したりする危険があるため、絶対に近づかない、極力通行しない、引き返して迂回するという勇気ある行動を必ず取りましょう。



画像出典：tenki.jp